

2024年度 上期 鳴尾浜事業部 安全衛生管理計画表

事業部長	マネジャー

提示日：2024年4月1日

<p>全社方針</p> <p>社員がいつまでも笑顔で働き続けることが出来る職場環境を作る。</p> <p>(1) 3つのゼロの取組み ①全事業部のリスクアセスメントの継続強化 ②重篤災害につながる転倒・転落災害の防止 (2) 5S活動の推進 ①全所属で継続して5S活動が行える仕組みづくり ②取り組みの形骸化の抑制のための工夫づくり</p>	<p>事業所課題</p> <p>1 新安全衛生日誌の運用と定着 2 「労災防止マニュアル」の完成と教育を完了させる。 3 カイゼン活動の「見える化」 4 リスクアセスメント推進</p>
<p>事業部方針</p> <p>当社企業理念より、安全・確実・丁寧を基本とし、より質の高いサービスを追及し、物流を通じて組合員のくらし、地域社会貢献の実現に向け「安全最優先で安心して働ける環境」を整え、「働く人の命と健康」そして「家族」を守ることを推し進めます。</p>	
<p>事業所方針</p> <p>コープこうべや関係会社と協力し、働く人一人ひとりが、安全と健康を自分自身、仲間同士の問題ととらえ解決できる組織風土を醸成させます。</p> <p>①リスクアセスメントの継続強化 ②重篤災害につながる転倒・転落災害の防止 ③5S活動の推進</p>	<p>年間目標</p> <p>1 新所属安全衛生日誌での記録を定着させる。 2 全工程の「労災防止マニュアル」を完成させ、再教育を実施する。 3 カイゼン活動を開始する。 4 継続したリスクアセスメントを実施する 5 労働災害 年間 2件以内（鳴尾浜事業部全体） 6 動力車事故 年間 2件以内</p>
<p>前年度の活動の評価と見直し</p> <p>1 労働安全法30条に基づいた安全対策を記録する所属安全衛生日誌に改定した。 2 一部の工程について、重篤災害につながる作業の手順書の再構築と教育を実施した。 3 日常清掃と定期清掃のルールを再設定した。 4 全社統一したリスクアセスメントのフォーマットを活用した記録を開始した。 5、酒類エリア変更に伴う労働災害は発生していません。</p>	<p>上期のリスクアセスメントの実施結果等における特定事項</p>

備考：○・・・取組実施月 …取組期間 → 備考：○・・・100%実施、△・・・75%以上、×・・・75%未満

重点施策	実施項目	目 標	担 当	実施スケジュール						評 価	次年度計画での検討事項	留意点	
				4	5	6	7	8	9				
3つのゼロの取り組み	① リスクアセスメントの継続強化	● 危険性及び有害性などの情報発信	・ 週ごとに、項目を変えて発信	責任者	→								
		● リスクアセスメント実施	・ 危険源の発掘(ヒヤリハットなど)	リーダー会	→								
		● リスク低減措置の再検討	・ 6か月毎に実施	リーダー会	→ 再検討								
5S活動の推進	② 重篤災害につながる転倒・転落災害防止	● 「労災防止マニュアル」作成と教育	・ 入荷	チーフ・リーダー	→ 教育実施								
			・ 経由	チーフ・リーダー	→ 教育実施								
			・ 酒	チーフ・リーダー	→ 教育実施								
5S活動の推進	① 継続して5S活動が行える仕組みづくり	● 始業ミーティングで、安全ポイントを指示	・ 毎日ワンポイント発信	責任者	→								
		● カイゼン活動	・ カイゼン活動の推進チームをつく	チーフ・リーダー	→								
			・ カイゼン課題の抽出	チーフ・リーダー	→								
作業管理強化	② 取り組みの形骸化の抑制のための工夫づくり	● カイゼン活動	・ カイゼン活動推進事例をつくる	リーダー会	→ 上期振返り								
		● 3定管理の習慣化	・ 基準の明確化	チーフ・リーダー	→								
	● 各工程の作業特性を知る	・ 物量進捗と人員の相関関係	リーダー会	→									

事業部長	マネジャー

全社方針	社員がいつまでも笑顔で働き続けることが出来る職場環境を作る。 (1) 3つのゼロの取組み ①全事業部のリスクアセスメントの継続強化 ②重篤災害につながる転倒・転落災害の防止 (2) 5S活動の推進 ①全所属で継続して5S活動が行える仕組みづくり ②取り組みの形骸化の抑制のための工夫づくり	事業所課題	1. 安全取組は周知されているが目の前の業務対応に追われてしまう。安全最優先の風土構築が必須。 2. 安全ルールは周知し、実施されているが、維持継続力が課題 3. 管理者の長時間労働
事業部方針	社員の安全と健康を守るため、ルールを守る組織風土および安全安心で明るく活気ある職場環境を目指します。一人一人の安全の積み重ねによって、全員で「労働安全魚崎浜モデル」の構築をすすめます。どのような状況下においても安全を最優先とした荷役作業の実践を全従業員で徹底します。	目標	1. 労働安全衛生マネジメントシステムの推進(労働災害事故23年発生5件以内に抑制)(過去において常に多い転倒事故/骨折防止に注力) 2. 動力車による重大事故0件 3. 5S活動を通じて『3定』の向上をはかり、災害を防止できる職場環境を構築 4. リスクアセスメント、5S活動の習慣化
事業所方針	1. 作業手順書作成、情報発信はWEB/WEBソフトを最大限利用し、全従業員に周知徹底 2. 過去に発生した災害事案と対策の周知と対策の継続 3. リスクアセスメント、5S取組を推進し、より安全で安心な職場の構築と全従業員の習慣化を目指す 4. コンプライアンス知識習得、ルール遵守できる職場構築 5. 動力車操作、荷役作業における教育継続と次世代官育成に着手	上期のリスクアセスメントの実施結果等における特定事項	
2023年度下期の活動の評価と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・動力車事故は前年と同件数が発生。慣れによる油断が要因であり、今後はルールの遵守継続と危険意識向上が必要。 ・交通事故はKC敷地内における夜間発生が大多数。納品先危険個所など、ドライバーへの周知が必要。 ・リスクアセスメント、5S活動の重要性は監督職まで浸透。職場全体への浸透(習慣化)が今後の課題。 ・下期労働災害0件を達成。通期では前年9件に対し、5件と半減。監督者指導、および、各種情報発信により、作業者の危険意識が向上しつつある。 ・ハラスメント撲滅取組、社員コミュニケーション向上取組が活性化。個人面談や勉強会開催などの積極的取組が進みつつある。 ・送迎バスは22年度事故発生から、ルール遵守、意識向上により連続無事故日数600日以上で推移中。 		

備考: ○・・・取組実施月 ・・・取組期間 ➡ 備考: ○・・・100%実施、△・・・75%以上、×75%未満

重点施策	実施項目	目 標	担 当	実施スケジュール						評 価	次年度計画での検討事項	留意点
				4	5	6	7	8	9			
3つのゼロの取組	1 重篤災害・感染症の情報対策の発信	危険行動・対策の周知ができています	管理M・チーフ	○	○	○	○	○	○			
	2 繁忙期・物量増加時の重篤災害防止	人時コントロール・事前準備ができています	M・チーフ	➡								
	1 ハラスメントの定期的な勉強会開催と情報発信	知識・対策が身につけている	ライン長以上	➡								
	2 ハラスメント予防(個人面談向上・挨拶運動継続)	風通しの良い職場構築ができています	M	○	○	○	○	○	○			
	1 交通事故0取組(周囲の安全確認徹底)	・ドライバーが安全行動実践できる ・KC内/出入り時の接触事故減少 ・法令遵守	M	➡								
	2 危険個所など、KC台帳の見直し			➡								
	3 物流2024・テールゲートリフター作業対応			➡								
リスクアセスメント(労働災害防止)	1 RA継続:過去災害と対策周知	残課題低減・現対策が継続できている	管理M	➡								
	2 RA活動推進:定例会実施	方向性や手法が発信されている	チーフ	○	○	○	○	○	○			
	3 RA活動:ライン長会議内で開催	現場からの意見、改善策が発信される	リーダー/ライン長	○	○	○	○	○	○			
	4 荷役作業教育継続による動力車事故抑制	ルール遵守/部内研修が充実している	管理M・安全担当	➡								
5S活動	1 3定(定位・定品・定量)管理	5S取組が習慣化されており不要物が職場にない状態	管理M・チーフ	➡								
	2 作業による現場巡視			➡								
	3 5分間清掃(職場美化)			➡								
危険予知(KYT)	1 定例KYT(危険予知トレーニング)	防御運転技術の習得	チーフ	○	○	○	○	○	○			
	2 送迎バス安全運用(KYT・ルール順守チェック)	交通事故、労働災害防止	チーフ	➡								
	3 動力車KYT	ルール順守と庫内事故再発防止	リーダー	➡								
情報共有化	1 魚崎通信、掲示板活動の継続	イレギュラーを含む情報の従業員周知	管理M・チーフ	➡								
	2 定例会	荷主との情報交換・共有化	M	○	○	○	○	○	○			
各種会議 職場巡視 安全記録化	1 手順書の更新(見直し)	常に最新の情報が記載されている	安全/衛生管理者	○	○	○	○	○	○			
	2 ライン長会議の継続/充実化	情報の迅速な共有化	ライン長	○	○	○	○	○	○			
	3 安全衛生日誌の記録充実化	社員の安全/健康状況把握	管理M	➡								

2024年度 上期 トータルサポート事業部 安全衛生管理計画表

事業部長	マネジャー

提示日:2024年 4月 1日

全社方針	社員がいつまでも笑顔で働き続けることが出来る職場環境を作る。 (1) 3つのゼロの取組み ①全事業部のリスクアセスメントの継続強化 ②重篤災害につながる転倒・転落災害の防止 (2) 5S活動の推進 ①全所属で継続して5S活動が行える仕組みづくり ②取り組みの形骸化の抑制のための工夫づくり	事業所課題	【安全衛生診断評価】 ①低評価項目より優先課題を抽出し、全体での評価を向上させる ②マネジャーによる職場巡視を強化し、職場環境の改善を実施 ③各部署責任者において「RA活動」「5S活動」の継続を進め、より良い職場環境を整える ④交通事故減を目指し、ドライバーの意識向上を目指す ⑤通勤災害、職場での労災ゼロへの取り組みを強化する
事業部方針	3つのゼロ(交通事故0 業務上災害0 ハラスメント0)を念頭に置き、社員全員が健康で元気に風通しの良い職場環境で働き続けることが出来る仕組みづくりを目指すことで、安全文化の醸成に尽力します。	目標	【取り組み数値目標】 労働災害年間・・・件 交通事故・・・件 安全衛生診断評価3.2ポイント→3.5ポイントへ上昇 安全衛生委員会100%実施
事業所方針	安全衛生部会を中心に安全環境整備を強化します。 社員が安全に対する「心構え」を維持できるような環境づくりを図り、危険予知や過去事例から学ぶ仕組みを整備します。 社員から、安全に対する自発的な意見が出るような雰囲気づくりに努めます。	上期のリスクアセスメントの実施結果等における特定事項	
2023年度下期の活動の評価と見直し	・23年度は安全衛生部会を中心に「RA活動」「5S活動」の骨組み的な活動を計画に沿って実施できた。取り組みの中身に関しては、各部署での差は若干あることは否めない。24年度はより早期な計画と改善を進め、誰もが見える成果を出していきたいと考える。 ・健康推進においては禁煙活動スワンスワンの取り組み、健康診断100%受診、2次検診への100%受診を継続実施。 ・動力車による「指差呼称」の徹底不足があり、取り組みの形骸化を招く結果となっており、新たな取り組み方法を実施する方向へ。 ・「RA活動」「5S活動」の取り組みにより、職場改善の意識は芽生えているように感じる。24年度も継続して社員一人ひとりの意識向上を図っていく。		

備考: ○・・・取組実施月 ...取組期間 → 備考: ○・・・100%実施、△・・・75%以上、×75%未満

重点施策	実施項目	目 標	担 当	実施スケジュール						評 価	次年度計画での検討事項	留意点
				4	5	6	7	8	9			
ハラスメントゼロ 取り組み	1 研修等の積極的な参加	正しい知識の中で職場環境が整えられ、風通しの良い職場であること	本部	未	未	未	未	未	未			
	2 正しい知識の習得		事業部長	→								
	3 ハラスメントへの対応と防止		マネジャー	→								
労働災害ゼロ 取り組み	1 転倒・転落災害防止の取り組み	不幸な社員を出すことなく、「安全第一」が職場に浸透している状態が継続し、危険意識が向上していること	本部	→								
	2 労働災害事例の共有化		事業部長	都度	都度	都度	都度	都度	都度			
	3 意識向上への取り組み		マネジャー	→								
交通事故ゼロ 取り組み	1 KYT活動の継続(週一回)	事故の共有化がしっかりとできており、ドライバー一人ひとりが無事故への意識があり、年間(上期)での目標事故件数を達成していること	本部	週一	週一	週一	週一	週一	週一			
	2 事故防止12項目への意識向上(定期テスト)		事業部長	月一	月一	月一	月一	月一	月一			
	3 重大事故の共有		マネジャー	→								
	4 事故後の再発防止		各部署責任者	都度	都度	都度	都度	都度	都度			
RA活動継続	1 新たな危険個所の洗い出しと改善	安全衛生計画に基づき、RA活動が継続しており、新たなリスク低減措置が実施されている状態である	TS安全衛生部会	→								
	2 残留リスク低減措置への取り組み		各部署責任者	→								
	3 下期にむけた全員参画型の計画と取り組み方法		社員全員	→								
5S活動継続	1 5S管理の一元化(月例報告)	安全衛生計画に基づき、5S活動が継続できており、そのことが習慣化されている状態である	TS安全衛生部会	月一	月一	月一	月一	月一	月一			
	2 職場の巡視と全社員参画型への取り組みを実施		各部署責任者	→								
	3 3定管理項目の選定とその取り組みを実施		社員全員	→								

取組項目